

八乙女

編集 南山見公民館
発行

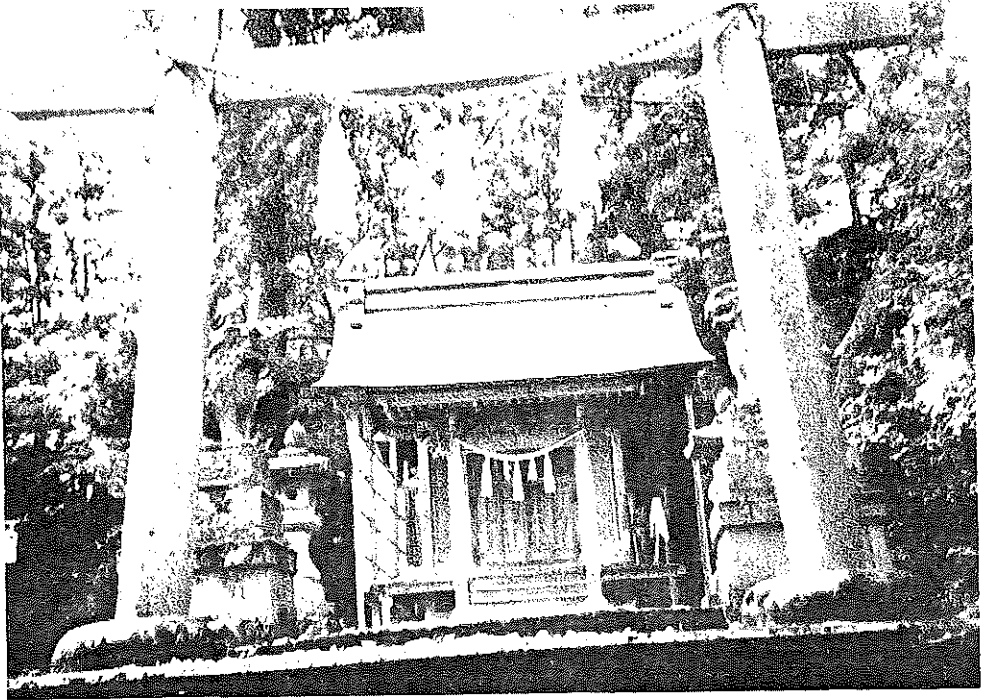
平成4年1月15日発行

No. 42

富山県東砺波郡井波町川原崎
TEL (0763) 82-5176

人類の悲願新たに年明くる

前川美登里



志観寺 白山社 祭神 菊理姫命

新年を迎えて

自治振興会長 蓮田久信

新年明けましておめでとうございます。毎年正月を迎える度に想い出すことは、大東亜戦争の勃発、そして昭和二十年の敗戦、その後どん底の苦しい生活から忍耐強く立ち上がり、今日の経済大国を築き上げたことは予想だにできなかったことで、平和で豊かな環境に浴していることを思うと感慨無量である。

それにしても戦争だけはいやだ。忘れようとしてもつい想い出してしまう。私事で恐縮ですが、昭和十六年春、関東軍に入隊。その年の十二月宣戦布告となり年月が経ると共に激烈化して来た戦況下にあつて、沖縄方面宮古島へ転出の命を受け防衛任務に当たったが、極度の食糧不足による栄養失調とマラリアに侵され戦わずして死んでいく状況が続く中で、隣島である沖縄本島の全員玉砕を知り、次はこの島の順番と覚悟していた。その頃から爆撃や機銃掃射も激しさを増す毎日であったが、突如として八月十五日の敗戦を知らされたが、どうしても信じる事ができなかった。南方諸島が次々に玉砕して来る戦況を聞かされている時に生きて帰れる等夢にも思っていなかった。そんなことを思い起こす度に今日の自分があることの奇跡的な思いと、亡くなった戦友のことなど走馬灯の如く浮かんでくる。数えてみれば戦争が終わって四十五年の永い年月は過ぎたが、忘れてならないのは、永久に平和を守り通すことであり、それに加えて人と人との繋がりを大切にし各自が幸せを目指して一層の努力をすることが肝要と考える。

当会としても急速に進んでいく社会情勢に遅れることなく今年も地区発展のため取り組んでいきたいと思っていますので皆様方のご指導とご協力をお願い致します。

「ご成人おめでとう」ございます
心よりお祝い申し上げます

- | | |
|---------|-------|
| 院瀬見第一区 | 前川照美 |
| 第一区 | 山田義孝 |
| 第三区 | 前川淑江 |
| 第四区 | 山本隆 |
| 東城寺 | 須川博之 |
| 清玄寺 | 須川紀子 |
| 志観寺 | 亀田和代 |
| 谷 | 福村仁美 |
| 川 | 前田香織 |
| 沖崎 | 武田真紀 |
| 南山見団地 | 宮川浩信 |
| 今里 | 横江砂織 |
| 昭和三十六年生 | 齊藤淳子 |
| 十八名 | 箭原明由美 |

公民館よりささやかですがお祝いに「現代用字辞典」を贈りました。

小学校最後の年



松村育美
(昭和55年生)

今年はサル年で、私の年です。そして、小学校最後の年です。私は、小学校最高学年になるので下級生のお手本になれるように努力します。

交通ルールや学校の規則を守り、下級生に教えてあげたいと思っています。私は大きくなったら、保育所の先生になりたいと思っています。だから、もっと勉強をして、子供たちに歌を歌ってもらえるようにピアノの練習もがんばってやっています。

さる年になって



山本真司
(昭和55年生)

ぼくは、がんばりたいことが二つあります。

それは、チャレンジです。

一つ目は、五〇メートル走です。学校の体育の時よくやったりします。ぼくは二学期の時、とても速かったです。けれどとても疲れるしいやだったのです。三学期は、苦しいとも言わずにがんばりたいと思います。

もう一つは、マラソンで最後まで走りぬくことです。休み時間に学校のトラックを毎日走りました。マラソン大会は、ねばり強く走りぬけたと思います。今年もマラソンを通してがんばりぬく体力と気力を養って、大人になっていろいろな障害をのりこえていけるようになりたいと思います。

情報を的確に



直江裕之
(昭和43年生)

今や世界の情報は、時々刻々と、かつ激しく変動しております。また、巷では莫大で種々多様な情報が氾濫しています。この中

にあって我々は、一方ではあらゆる情報を拒否し、自分の殻に閉じこもっ

て自分のテリトリーにおいてのみ行動する傾向があります。また、他方では、どんな情報にも耳を傾け、「これがトレンドイなのさ。」と聞いていても、実は自分を失い、自分自身では何もできなくなり、情報によってのみしか行動できなくなる傾向があります。

こういった両極端の状態に陥らないためには、まず自分自身のアンテナで有用な情報を摂取し、一つ一つを整理していく必要があると思います。そして、時代の動きをしっかりと見据え、十分に納得した上で行動することが、今の自分には最も大切なことだと思っています。

私の生きがい



田中一昭
(昭和31年生)

私が生まれた昭和三十一年は、日本が国連に加盟し、高度経済成長を迎えようとしている頃であった。それから、社会は急激に変化した。

近年、余暇時間の増加や生活水準の向上、高齢化社会の進展に伴い、スポーツの重要性が増してきた。それは、単に健康の増進や体力の向上のためだけではなく、人生をより豊かに充実させるための「生きがい」や「文化」の一つとして、捉えられ

るからである。
私は、季節に応じて多種のスポーツを愛好している。夏場は、野球やソフトを中心に、ゴルフやサッカー、水泳を楽しみ、冬場は、スキーやバドミントンを楽しむ。それぞれに特性があり、味わう楽しさや喜びは様々である。しかし、共通しているのは、体感「爽快さ」である。

今年も、いろいろなスポーツを行い、豊かで充実した日々を送りたい。

夢を見続けたい

松井泰範

(昭和19年生)



今年も新たな年を迎え、ありがとうございます。感謝しています。

私は人生八十年を目標に生きていま

す。ここで日頃、思っていることを言ってみたく思います。まず第一は健康であること。そのためにはスポーツを通じて身も心も健全にしてストレス解消、すべてを忘れて打ち込めるスポーツが大好きで、大事にしています。老けないためにも、精神的にも若返るためにも年をとって

も続けていきます。二つには楽しい家庭を築くことです。お互いに助け合って生きていく家庭を大切にしたいのです。そのためには、まずは自分の教養を高め、父、母、妻、子供にお互いに幅広い理解と包容力をもって接し、お互いに認め合う家庭を築くために、今日も限りなく努力して、生きぬいていきます。

今年もこのような初夢を毎年、見続けていきたいものだと思っ

心豊かに

林 好子

(昭和7年生)



明けましておめでとうございます。

私達の世代は戦争の真っ只中に小学生時代を過ごしました。ご飯に豆や芋を混ぜた弁当と防空ずきんを持つて学校へ行つたものです。校庭には防空壕が掘ってあり、さつま芋の畑もありました。勉強もしましたが、野菜を作ったり牛の世話や軍事教練などもしました。終戦後の物質のない時代から経済の高度成長期を過ぎ現在の豊かな時代を迎え、戦争前後の時代には考えられないような物質

過ぎし日を顧みて

井上幸子

(大正9年生)



明けましておめでとうございます。

私は大正九年生

これまで六回目の申年となりました。小学校の頃は四大節があり、夏は伏木のお寺で泊まり海水浴をしたり、お祭りになると院瀬見・連代寺・谷の村社のお宮へ参拜。また、野山を駆けまわり、桑の実、ツバナ、山苺等を食べたり楽しく暮していました。満州事変が起こり兵隊さんを見送り、

が街にあふれ、文明のありがたさが身にしみます。しかし大量生産の結果、物に対する愛着が薄れ粗末にあつかっているような気がします。時代が違うと言えどもそれまでですが、数多くの人の手がかかっている物を粗末にすることは作つた人の心を粗末にすることです。物を思いやる心を大切に、心豊かに生きていたいと思います。

大東亜戦争前後は、食料も物質も充分でなく、「欲しがりません 勝つまでは」の言葉をスローガンとして働いてきました。それが今ではどうでしょう。平和の時代になり、経済的にも物質的にも恵まれてきました。それにも多くの人々の犠牲により出来たたまたまものです。

昔のことを思うと感謝の気持ちでいっぱいです。その気持ちをいつまでも大切にして、平和の時代が永く続くことを願っております。

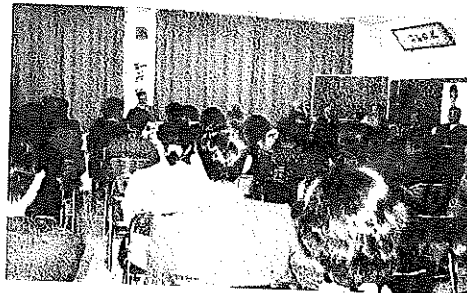


「町長と町政を語る会」開催 活発に多数が参加

去る十二月五日午後七時三十分、自治振興会と共催、公民館ホールにおいて地元から八十余名が参加し開催された。

当日は、町側から町長、収入役、教育長、各課長が出席し、町の当面している現状と将来について、予定していた時間を越え活発に話し合われた。

始めに、町長より当面している問題や懸案の事項について説明がなされたが、特に、瑞泉寺問題の早期解決への期待、閑乗寺木彫キャンプの報告と早期再開催、厚生病院の増改築と診療体制の整備、ゴミ処理問題等について理解と協力を求められた。続いて、前回に出された問題と関連し、当日話題となった主なものは、南山見保育所へ通ずる道路の拡幅、農道舗装の早期実現、口山林道の開発整備、村部消雪工事の促進



（倉嶋）保について要望した。

- 。防火水槽の設置
- 。下水道工事の実施計画と受益者負担について
- 。西大谷川、千谷川、中江川の防護フェンスの改修について
- 。戸板住宅団地の再整備
- 。農業者の後継者対策
- 。八乙女トンネルの計画
- 。ゴミ収集方法の改善について
- 。井波——福光線の歩道工事
- 。老人福祉施設の設定計画
- 。不動滝周辺の整備

このほか紙幅の都合で記載できないが、公民館としては、正面玄関の改修、雑庫の増設駐車スペースの確保について要望した。

婦人防火クラブ 防火標語入賞者

応募総数一、一六三点の内、当地区より二名の方が入賞されました。
努力賞 徳 成花 枝
「火の始末人にたよるな自分の目で」

佳作賞 小 橋 芳 江
「大きな火を呼ぶ小さな油断」

地域の活力推進シンポジウム

テーマ 皆で創ろう住みよい町
11/30

「地域の活力増進をはかり住みよい町づくりを皆ですすめよう」をテーマに、南山見公民館で地区住民九十余名が集まり、城端町山秋医院長をコーディネーターに開催されました。

始めに「家族の健康管理と地域社会」と題し、山秋医院長の基調講演をいただき、続いて四名のシンポジストの方から体験をふまえた、次の

貴重な意見をそれぞれの立場で発表されました。

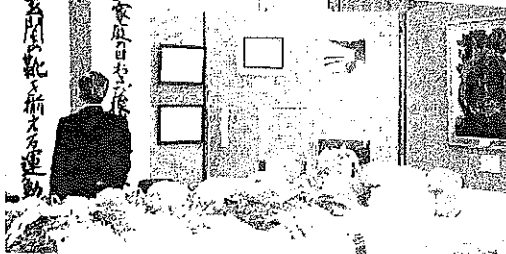
- ① 公民館とコミュニティ
 - ② 親子の成長
 - ③ 家族の心も休まる家庭
 - ④ 高齢者の生きがい、三世代交流に伝承を忘れてはならない等々……
- 数多くのことが掘り起こされました。これについて地域の福祉を共に考え支えあって、活性化を高めようと、熱心に討論が交わされたことは、迎えようとしている高齢化社会にあっても、思いやりのある住みよい地域づくりにも役立つものと思われまふ。このシンポジウムが大きな指針となったことを喜びとします。

（前川正夫）

南山見地区文化祭

十一月十四日、恒例の秋の祭典、第十四回地区文化祭が、好天に恵まれ開催されました。

今日のために、いく日か前からこつこつと作り上げた作品展示。丹精こめて育てた野菜、果実等が一堂に揃った農産物が所狭しと展示され、また、各部会では即売が行われました。



体育館では、幼児による舞台発表を皮切りに、各グループによる盛りたくさんの芸能発表が、またグラウンドにおいてはマレットゴルフ大会、ペタンク講習会が行われており、大変有意義で楽しい一日でありました。保育園児から老人クラブまで、全員参加による手作り文化祭であることが南山見の誇りであり、大事な事業だと思えます。

これからも、地区のコミュニケーションの場として、大いに文化の輪を広げ、切磋琢磨されることが期待されます。(久恵博明)

第8回 南山見ビーチボール大会



今年は、井波中学校の体育館を利用し、二日間の予選を行って、総当たり選と例年とは違った大会となり、多くの試合をすることができ、楽しんでもらったのではないかと思います。「二日間も続くのでちょっときつかったわ」との話も聞こえました。が、いつも仕事で九時頃に帰るお父さん方も、この日はやはり地区の皆さんに協力しようと、時間まで集まって下さったことには、本当に感心しました。

若夫婦におじいちゃん、横にはおばあちゃんがお孫さんのお守をしなから応援をされるなど家族全員の参

加となり、まさに南山見にふさわしい大会であったように思います。熱戦のあまり使用時間を大幅にオーバーする毎日に、公民館側も中学校の方にいろいろ気を使ってお詫びに行ったりと聞いています。一年を通し数多くの行事のお世話をする公民館の皆さんのご苦労は私達の想像以上のものだと思います。下は幼稚園から老人クラブまで、層の広い人達が入りする公民館の中で、山本書記さんの人柄にはいつも感心させられます。若い人達には若い気持ちで接し、全体で動いておられる姿は全然年齢を感じさせません。いつまでも元気で頑張れとエールを送りたい気持ちです。私達ビーチの愛好者として、南山見のようにファミリーで楽しむのもとても心待ちにしています。私達は郡や県体に出て大きな試合を何度か行ってきました。ほとんどが南山見チームの出場、井波町はまだまだレベルが低いように思います。男子も女子も次勝はあるのですが、優勝はなかなかすることはできません。今年こそぜひ優勝を狙っていきます。(山口すみ子)



少年研修館書道部の常川汀華先生より揮毫額のご寄付を頂きました。
誠にありがとうございました。

蘭在幽林
すばらしいものが、この里に
こそある。優秀な人材が
ひそんでいよう。
平塚 汀華

ゲーム紹介

フランスのビー玉
ペタンク

南山見地区の皆様には、新しい年を迎え様々な夢の実現へとスタートを切られたことと存じます。老いも若きも健康であればこそたどりつく道程は短いものと思えます。昨年度、清都町政の一つの目だまであります地域スポーツ推進事業が当地区に降り、スポーツ推進委員会として地区民各位の意見を参考とし取り組んで来ましたが地区全体に浸透するまでには至っていないのが現状と思えます。ペタンク、これがこれから展開しようとするスポーツですが、改めて紹介します。ペタンクは木製の標的球(ビュット)と鉄球を使い砂利の上か土の上ならどこでも出来ます。ルールも簡単で、二組に分かれて所定の位置から交互にボールを投げ標的に近づいた方が得点になる競技です。百聞は一見にしかず、まずやってみて下さい。楽しみながら健康を作り出す。これが軽スポーツです。今年一年よろしくお願ひします。
(スポーツ推進委員会 山本 彰)

児童クラブクリスマス会

楽しかったクリスマス会

去る十二月二十二日、南山見公民館において、児童クラブクリスマス会を楽しみました。

朝九時には、チビッコ達が集まっていて、男子はツリーの飾り付け、女子はケーキのデコレーションづくりというふうに分かれ、一年生から六年生が全員協力して、準備ができ、一〇時三〇分からいよいよローソクに点火し、「きよしこの夜」を合唱しました。続いて、サンタクロースからプレゼントをもらった児童達は大変嬉しそうでした。



その後、みんなでケーキを食べ、体をたくさん動かしてゲームをしたので寒さなか平気でした。
ニコニコと満足した顔の子供達は、楽しいひとときを過ごしてくれたことでした。
(池田八重子)

ご寄付

ありがとうございます
公民館備品費 二万円
平成三年度 婦人部 一同様

編集後記

年が改まり今年は申年、暮れに少量の積雪があったものの、今年に入ってから全然積雪がなく、嬉しいような悲しいような年の始まりです。公民館報(八乙女)も第四二号という発刊数になりました。一年三回とすれば、単純に割っても十四年の歴史があるということになります。十四年一口に言っても非常に長い月日です。その間には、いろいろな方々の努力と協力があったればこそ、ここまで続いてきたものと思えます。私達も、その意志を引き継ぎ、かつより新鮮で中身の濃い館報作りに取り組んでいくつもりです。
地区の皆様方の愛読を願いつつ今年の新スタートとします。(A・K)